

F23 セューズ(フランス)

セューズの岩場は丁度オートアルプスの左端にあたるGAPの街に程近い。岩場は巨大な台形状の山の頂上直下に帯状に連なっている(頂上はスキー場になっている。)見た目にも非常に美しくかなりはなれた街からも確認できる程巨大である。とにかく一度見るだけでも価値がある。ここはかなりの若くから開拓されていてエドランジェのルートなども多く見られる。そして夏のエリアとして大変人気がある。最盛期には、平日でも200-300人のクライマーが訪れていた。

岩場は帯状に数キロに渡って連なっていて便宜上幾つかのセクターに分けられている。セクターによってクライミングの質が大きく異なりバラエティに富んだ内容となっている。

またフランスには珍しいルートは全てナチュラルである。セクターによっては数百メートルの幅の岩場にルートが5本と、ところもありホールトが無さそうな所には遭えてドリルで掘ったりして造っていない。通常フランスではドリルは日常茶飯事だがここはモラルが守られている。

そして何よりルートのクオリティが素晴らしい。世界中の岩場を登りに行っているが、適当に空いているルートを取り付いても、これほどハズレルートがないエリアは記憶にない。アメリカのクライミング雑誌、ロックアンドアイスに世界最高の岩場と紹介され、実際そのとおりだという人もいる。

そして何よりランナウトが半端ではない。上に行けば行くほどランナウトする。20メートルでボルト5-6本のルートもある。まさに真のクライマーのためのエリアである。

ただ問題はアプローチが最低50分はかかる。

ここは多くの日本人クライマーが訪れているが賛否両論である。まずアプローチにめげざる者、ランナウトに耐えられない者、スラブっぽいのが嫌いな人には好きになれないかもしれない。

一方、最高の評価をするクライマーも少なくない。私などもたゞん気に入っている岩場の一つである。

そうでなくともアプローチからの眺めは大変良く、ハイキングだと思って、一度は行ってみる価値があるエリアである。

岩質

石灰岩

ルート

岩場は帯状に広がっており多くのセクターに分けられていて、その下部を渡り歩いて移動できる。高さは100メートルほどありその下半分位の所に築かれている。ほとんどのルートは60m ロープでぎりぎり降りてくれる様に作られている。

幾つかのセクターでそれぞれ特徴がある。

La cascade

前傾壁で人気なのがカスケードと呼ばれるエリアである。(前傾壁はここ以外ほとんど無い)ここは下部が大きく前傾していて上部が薄かぶりとなっている。このエリアは非常に印象的である。特徴としてはさまざまなバリエーションを使うクライミングである。ルート中に巨大なバケツガバがいたるところにあり使うホールトも一目瞭然で、とにかくケイケドンドで突っ込んでくると感じである。

随所に悪いムーブが出てくるが、頑張ればバケツガバが出てくるので、力を出し切ることができる。

ただし上部に行くに従いかなりランナウトするので、慣れないとかなり怖い。

また7c+以上のルートのなると、終了点直下で大きくランナウトした状態で核心部が出てくるものもあり、頭が真っ白になる。

このエリアはグレートがかなり甘めで、オンサイトも狙いやすい。午前中はループ下などは太陽があたらないため、この時間はとても混んでいる。

Thorgal

カスケードの右よりのセクター。カスケードと異なり非常にテクニカルなクライミングである。下部は垂直の壁に無数に空いたボウットで快適に高度を稼げる。終了点直下になると傾斜がゆるくなり、スラブとなるがホールドが極端になくなり非常にデリケートなクライミングとなる。まるで小川山でスラブを登っている感じである。しかしこのルートもクオリティは素晴らしい。

Berlin

カスケードと並んで、非常に人気があるのがベルリンと呼ばれるエリアである。ここはアプローチからも良く見える。垂直からスラブの非常に美しい大きな壁である。どのルートも傾斜がそれほどないため、かなりテクニカルなクライミングとなる。そして多くのルートは出だしから半端なくランナウトしている。登った感想は、岩質といい、ランナウトの感じといい、アメリカのスミスロックに非常によく似ている。しかしムーブはそれほど難しくは無い。どうも恐怖グレートも含まれているようだ。

夕方から日陰となるので、3時ころからカスケードから大半のクライマーはここへ移動し、いつもすごい人で賑わっている。これ以外に10近いエリアがあるが、カスケード以外はほとんど垂直のクライミングとなる。

宿泊

岩場のすぐ下のキャンプ場がクライマーには人気がある(シャワーあり)1日19€。また空いていればガス、電気、ベッド付きのモーターホームが35€といふ安さで借りられる。標高が高くなると寒いので、モーターホームが空いていれば借りたほうが絶対よい。Gapにはホテルやアパートがたくさんある。夏アパートを借りる場合は、数ヶ月前に予約しないと取れない。Gapのオフィストゥーリズム office.TourismeGap@wanadoo.fr

シーズン

標高2000メートルほどあるので基本的には夏のエリアなので4月、10月はおそらく無理。ただし晴れるとかなり暑い。太陽はほぼ岩場の真上を通過する。夕方から日陰になる。雨が降ったら登れない。上着は必需。

また、アプローチでは大汗をかいて下着がびしょりになるので着替えを持っていったほうがよい。またほとんどのクライマーは水はカスケードの左の滝で汲んで飲んでいて、ただし涸れているとどうしようもないので、初日は持参すること。

ショッピング

キャンプ場周辺には何も無い。ただしキャンプ場にはちょっとした食料品やトボは置いている。トボは2001年版の新しいものがでている。基本的にはGAPまで買出しに行かねばならない。Gapの町はずれにはクライミングジムがあるが、ボリダーのみで小さい。

アプローチ

GAPからD994を7キロほど進むとLA - FREISSINOISEという村に着く。そこからD19号を使って10キロほど走りSIGOYERという村でD219には入り道路の終点の広場に車を止める。キャンプ場は500メートルほど手前にある。パーキングの右はずれから伸びるハイキング道を40分ほど登るとカスケードとベルリンの分岐に着く。そこから約10分でどちらかの岩場に向うことが出来る。(鳳来の鬼岩より遠い)。

ただし多くのクライマーはキャンプ場から直接岩場へ行くアプローチを使っていた。帰りはこの道で降りてきたが、おそらくこちらのほうが歩きやすい。ちなみにクライマーの中には帰りはラグライダーで下降する者も何人かいた。D449号からCEUSEの看板が出ているがそれに従ってKと岩場の上のスキー場に出してしまうのでそちらに行かないように。